

新潟市新津斎場 指定管理事業報告書

令和 7 年度 実施内容

事業計画内容	実 施 内 容
地域・地域経済への貢献	新津斎場を考える会の供養会及び会合へ参加しました。 物品購入先は地元を優先して行いました。
個人情報保護のための方策	業務で使用した書類はシュレッダー処理を行いました。PC にはパスワード保護及びセキュリティー対策を実施しました。関係者以外の事務所立ち入りを制限しました。
職員研修及び育成の方法	他斎場との情報共有を行い、研修を行いました。新型コロナへの対応方法など、火葬受入、職員配置について研修を行いました。
職員配置の考え方	他斎場との相互研修を行い、応援態勢を強化しました。
職員の雇用・労働条件	雇用条件等に変更はありません。週 40 時間労働、有給休暇取得を徹底しました。
施設管理の方策	計画に従い業務を行いました。 各所、軽微補修を行いました。
要望や苦情に対する対応	利用者アンケートを場内設置のほか、ハガキによる回答収集を行い、399 通の返信を頂きました。
災害に対する対応	消防訓練、避難訓練、AED 取扱研修を実施しました。新型コロナ感染症予防対応として、消毒用品、防護用品の備蓄と館内配置を行いました。
事故防止と発生時の対応	所内ミーティングにより事故防止研修を行いました。 新型コロナへの対応方法の研修を行いました。
経費縮減の具体的な取り組み方法	節電、節水を心掛け、こまめな電源 OFF などを行いました。
斎場業務に関する基本的な考え方	感染症対応のため来場者数低減をお願いし、適切な案内誘導を心掛けました。館内での感染症予防に取り組みました。
利用者平等利用の確保	利用者の案内方法など、お年寄りにもわかりやすく丁寧な方法を話し合い、実行しました。
利用者への配慮の基本的な考え方と取り組み方法	館内、館外の清掃を行い清潔感に配慮した運営を行いました。 アンケート以外にも利用者に直接声かけを行い、要望事項の収集に努めました。